

## セーフコミュニティ・セーフスクール認証審査員

### デイル・ハンソン (オーストラリア)

- インターナショナルセーフコミュニティ認証センター長
- 世界セーフコミュニティネットワーク 理事長
- キーンズランドヘルス (オーストラリア キーンズランド州)  
北キーンズランドへき地医療トレーニング ディレクター
- ジェームスクック大学 公衆衛生学部 熱帯医学・  
リハビリテーション科学 上級講師 (非常勤)



医療及び外科 (学士)、公衆衛生及び熱帯医療、臨床教育 (修士) における教育と産婦人科、総合診療、重症外傷早期診療、救急治療、小児救命などにおける研究などをバックグラウンドに、外傷予防及び安全向上に関心をもち、マッカイのセーフコミュニティ活動及びオーストラリアセーフコミュニティ財団の発起人の一人としてセーフコミュニティにかかわってきた。

現在は、インターナショナルセーフコミュニティ認証センター長として多くのコミュニティの認証審査員を務めている。

### パク・ナムス (韓国)

- 韓国 ヒュプスン大学 衛生管理学部 准教授
- 韓国 ヒュプスン大学 地域健康安全センター 代表 (2014 ~)
- 韓国 亜州大学 医学部 地域安全向上センター客員教授 (2010 ~)



梨花女子大学 衛生教育学部を卒業後、延世大学大学院において博士号 (衛生行政) を取得。亜州 (アジョー) 大学医学部外傷予防地域安全向上センター (セーフコミュニティ支援・認証センター) でセーフコミュニティに出会い、以後、積極的に国内外のセーフコミュニティの支援にかかわる。現在は、協成 (ヒュプスン) 大学で教鞭をとるほか、地域健康安全センターの代表を務めている。

外傷サーベイランス及び安全向上に関する政策評価を研究課題としており、国レベルの研究等にも委員としてかかわっている。

セーフコミュニティ及びセーフスクールに関しては、亜州大学外傷予防地域安全向上センターに在籍していたときからセーフコミュニティ支援・認証センターのディレクターとしてコミュニティの支援を行っている。国内の SC・ISS 活動支援を行うとともに認証審査員として、国外のコミュニティの認証審査も担当してきた。

特に、ISS については、韓国で初めて ISS 認証を受けたジュンギヤ小学校について、その活動の推進に大きく貢献した。

これらの実績を認められ、現在では国 (教育省や健康福祉省) や京義道、ソウル市ソンパ区などにおいて、安全対策・学校安全・安全教育などの専門アドバイザーも務めている。

